

県道の草刈と野草

夏の草刈が終了しました。大きなブローワーが導入され、例年に増してきれいになりました。もみじ谷(中立裏)は北向き斜面に開かれた道路で、野草には特に恵まれた環境にあります。よく見ると日の差す場所と強い光の届かないところでは生えている植物に違いがあります。作業の中で、花の付いた野草を刈り残してくださる方が増え、道路を通る楽しみも出来ました。この時期に花をつけている、ピンクのホタルブクロ(ホタルブクロ、ヤマホタルブクロ・・茎の色が違います)、紫色のマツムシソウ(20cmほど)、やさしい黄色のキバナノヤマオダマキ(貴重、金蔵連、田ノ土里)、この他、秋に斑点のある紫色の花をたくさんつけるホトオギス(鳥のホトオギスの胸の斑点のそっくり)などを残していただきました。できるだけきれいに刈ることは望ましいのですが、もみじ谷プロジェクトを進めるにあたって、こうした配慮はありがたいことだと思っています。この他にも、クサアジサイ、ヤマアジサイ、タマアジサイ、ユキノシタなどはこの時期に咲く花で、風情もあり、意識して残していきたいと思います。ただ、野草は印を付けると逆に心ない人に根っこから採られてしまうケース(ササユリがこの二年ほどやられました)もあり、悩むところです。

最近、中立裏では、特に貴重なコケなどが発見されたと聞きました。専門家も注目していますが、この地域に住む人が、樹や草、水や石にいつそう関心を持っていただき、もみじ谷を自分の庭のように大事にしていただけるとありがたいと思います。

◇ 第3回もみじ谷整備作業を7月9日(木) 9:00~11:30 実施

- ・ 当日は、「わくわく事業」の現地視察ということで、支所の担当、地域会議のメンバーが8人ほど作業の様子と現地を見に来られました。実際内容を知っていただき今後も応援をいただけるように頼みました。
- ・ 内藤金三碑から上流に向けて、間伐や刈り払いを行っていただきました。「道庵坊主の滝」と新しく命名する岩盤を流れる勇壮な滝が道路からよく見えるようになりました。短い時間でしたが効率よく作業をしていただき、見違えるようになりました。
- ・ 切る木と残す樹は判断が難しいのですが、多くあるものは見通しがよくなるように思い切ってカットすることも必要かなと思います。ただ、葉の付いている時期にしか樹の特定は難しいので、今判断をしておかないと冬の作業ではわかりにくいことは確かです。
今回は、道下の寄せてある伐採された樹を取り除く作業もしました。滝に張り出した崖から、大きな株立ちのミツバツツジが5本ばかり顔を出しました。来年は花をつけることと期待しています。
- ・ 参加者は、矢澤区長、宮条多、水野勇、水野弥、水野一、小木曾誠、堀込、角藤、藤澤の9名でした。ありがとうございました。皆さん大活躍をしていただきました。

◇ 今後の予定

- ・ 今後は、できるだけ早く看板類を発注し、9月の作業日には設置ができるようにしていきたいと思っています。

◇ 次回作業日 8月26日(木) 9:00~11:30

- ・ 集合場所 内藤金三碑周辺
- ・ 作業内容 「道庵坊主の滝」から上流の道下の刈り払いと枝の片づけ(下刈り機など)
- ・ ご協力をお願い 道庵坊主付近の整備は後、4日間となりました。ご協力を願います。